

津波から命を守るために

② 津波からの避難

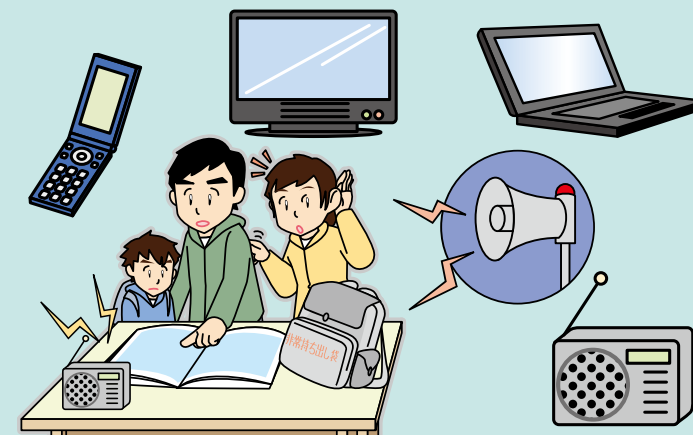
津波から避難するためには、まず、情報収集することが大切です。収集した情報をもとに津波発生の危険性を察知したら、できるだけ早く適切に避難しましょう。

津波から避難するための手順

1. 情報を収集する

地震による揺れを感じたら、まず、情報収集をしましょう。

倉敷市緊急情報提供無線システムの屋外拡声塔や、テレビ、ラジオ、携帯電話などから、現在の状況がどのようになっているか情報を入手しましょう。



2. 危険性を察知する

入手した情報から、津波発生の危険性を察知しましょう。また、少しでも危ないと感じたら、ただちに避難行動に移しましょう。

津波の危険性を察知できる主な情報

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1/地震の発生
・震度4以上の地震が発生した時
・ゆっくりした揺れが長く続く時 | 2/海面の異変
・急な引き潮が起きた時には必ず大きな津波が来る | 3/津波警報の発表
・テレビやラジオ、インターネットで津波警報などが発表された時 | 4/避難の呼びかけ
・屋外拡声塔(サイレンが鳴ります)や防災メールの呼びかけがあった時 |
|--|---|--|---|

3. 避難する

津波から避難するためには、一刻も早く高いところへ逃げるのが大切です。

東日本大震災のように想定以上の津波が来ることも考え、できるだけ安全な場所を目指して避難しましょう。



避難の心得

原則として車は使わない

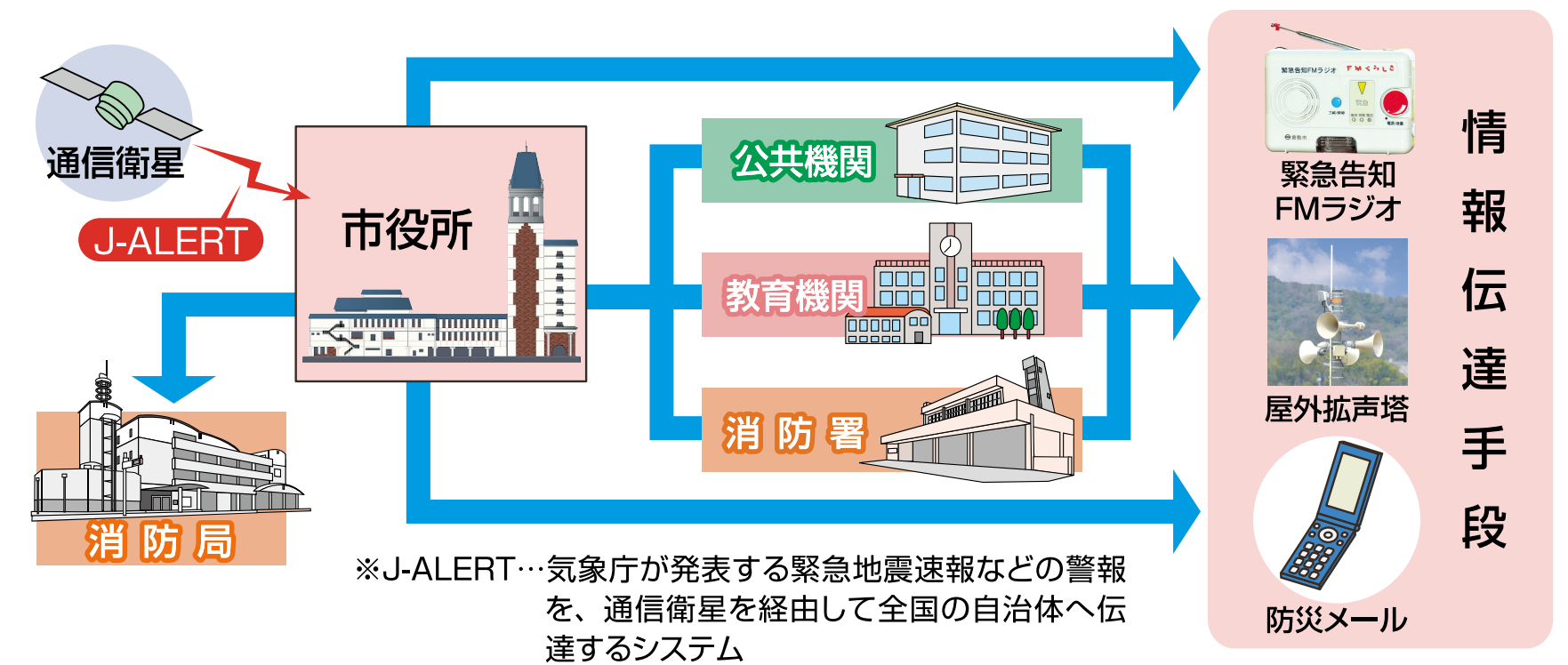
車での避難は、地震による道路等の損傷や液状化などにより、避難そのものできない可能性があります。また、徒歩による避難の妨げとなるおそれがあります。

引き波がなくても津波は来る

地震によっては引き波がなくても、津波が到達することがありますので注意しましょう。

倉敷市緊急情報提供無線システムとは？

倉敷市では、緊急地震速報や津波警報、避難情報などの防災情報をさまざまな手段を使って市民の皆さまが迅速に入手できるシステムを整備しています。



こんな時の対応は？

海岸にいた時

- ・避難の指示や勧告を待つことなく、ただちに高台や鉄筋コンクリートの建物の上階へ避難しましょう。
- ・津波は繰り返し襲ってくるので、いったん波が引いても、津波注意報や津波警報が解除されるまでは絶対に戻ってはいけません。
- ・海水浴中の場合は、監視員等の指示に従って避難しましょう。

川のそばにいた時

- ・津波は川を遡上するので、上流側に避難しても津波は押し寄せてきます。
- ・川からできるだけ遠ざかるように避難しましょう。

津波避難場所と津波避難ビルのどちらに避難？

倉敷市では、津波対策として、津波避難場所の見直しや津波避難ビルの指定をしています。

津波避難場所は、想定される津波浸水区域外に設置しています。そのため、津波から避難する際には、まず、津波避難場所を目指して避難しましょう。

もし、逃げ遅れたり、緊急の場合には、近くにある津波避難ビルを活用しましょう。

